



建物には舞台がありコンサートやカラオケもバッチリ

「飯館復興の桜を守る会」が3000本の桜を楽しむ「復興さくらまつり」を催しました。雨の予報があり、会場は會田征男さん（伊丹沢）が養蚕小屋を改修した建物です。開花に合わせて1週間前倒しの開催でしたが、県内外からゆかりの皆さんが次々と来場。会の会長を務める會田さんは「うれしい。こうして集まれるためにやってきたから」と喜びを語っていました。



會田さんの生歌「飯館復興の桜」で踊りを披露

飯館復興の桜を守る会

4/15



歌手の藤田征人さんと「澄美れ会」のステージも

伊達東 応急仮設住宅

4/15



さまざまなイベントを開いてきた伊達東交流館で

伊達東応急仮設住宅の自治会が、地元住民の会と一緒に、花見の会を催しました。仮設住宅の退去が進み自治会が解散するのに伴い、今回が最後の開催となります。すでに退去した元住民や、自治会の支援者も集まり、会は大いに盛り上がりました。「皆に会えてよかった」「最後になるのはさびしい」と名残惜しい声も。夜には自治会のお別れ会も開かれました。

3月24日、交流センター自主文化事業「山津見神社のオオカミ絵に会いに行く」バスツアーが開催され、県内30人、県外31人の参加者が、「国宝ハンター」として知られる美術ライター・橋本麻里さんと共に来村。山津見神社のオオカミ天井絵を見学し、橋本さんの講演を楽しみました。交流センターでは、村民18人が出迎え、郷土料理でもてなし、参加者と交流しました。

交流センター ふれ愛館

3/24



交流センターで手打ち蕎麦や郷土料理に舌鼓



山津見神社の拝殿で講演。円内は講演する橋本さん

南相馬地区 交通安全協会

4/6



県警の白バイやパトカーが先頭となり出動しました

「春の全国交通安全運動」に合わせて、南相馬地区交通安全協会が、南相馬警察署と共に街頭活動を実施しました。出動式は、交流センター「ふれ愛館」で行われ、村や関係機関が出席。3月に八木沢トンネルが開通するなど復興が進む一方、通行車両の増加やスピード化が懸念されるため、村内での活動を通して「事故を1件でも減らそう」と申し合わせました。



交通安全を呼びかける「ハンドプレート作戦」